

長中だより

平成27年9月29日
第35号
伊豆の国市立長岡中学校

文責 松下八十二

青組

今回は青組の、かつらぎ祭体育の部の振り返りを紹介したいと思います。感想からは、体育の部の感動が思い出されると同時に、生徒一人ひとりが成長できた様子が伝わってきます。

1年 加藤 優介さん

かつらぎ祭体育の部は大成功に終わったと思います。理由は、応援合戦や長縄でいい結果を残せたからです。ぼくは、最初、長縄は優勝できないと思っていました。でも、クラスみんなで並び方を考え、どのように跳ぶかなども話し合ってたくさん練習をしたから優勝できたと思います。応援も1年生、2年生、3年生が協力して練習をしてきたから優勝できたと思います。他にも自分の係の監察や放送も頑張りました。監察係は、旗を上げて反則しないかを見たり、放送はみんなが聞こえるようにゆっくり、正確に放送しました。他は、ソーラン踊りやリレーもあって、リレーではバトンパスを失敗しないように、ソーランは細かいところまで気をつけました。今年初めてやったかつらぎ祭体育の部は、自分の力を出せました。次は文化の部を頑張って、金賞を獲りたいです。

1年 小澤 由季乃さん

初めてのかつらぎ祭体育の部、青組全員でとてもよい体育の部を創り上げることができたと思います。たくさん思い出ができましたが、その中でも特に心に残っていることがあります。それは、学年種目の長縄で優勝できたことです。朝や放課後、体育の授業など限られた練習時間の中で、3組は常に声を掛け合い、アドバイスし合ったり、自分たちの飛び方を見て考え合ったり、お互いに力を高め合うことができたと思います。「3組テンション上がってきたぜ！」の掛け声は、まさに自分たちを勇気づけて、もう1回跳ぶという意欲を一人一人が出す、そんな感じがしました。日々の努力が「優勝」につながったんだと強く思いました。結果発表で1位だとわかったときの3組の喜ぶ表情は、忘れられません。しかし、これで終わりにせず、文化の部も長縄のような笑顔になれるように頑張ります。

1年 大川 愛夏さん

中学生になってかつらぎ祭になり、学年ごと協力したり、1～3年生が協力して応援をやったり、内容は同じだけど中学生はやるだけじゃなくて種目ごと優勝があり目標・目的をもってやることを学びました。縦割り種目では「放て元気玉」に出て、1番最初はボールを持ち上げることも難しく、本番でできるか心配でした。でも練習していくうちに上手にできるようになり、本番では失敗してしまっただけやってよかったと思えました。長縄では、クラスみんなで声を出して足を高く上げて頑張って、目標の100回は跳べなかったけど優勝できたので、心を1つにすることができるクラスだなと思えました。なので、文化の部でも全力を出して、金賞を取れるように頑張りたいです。来年は総合優勝できるよう、今年より頑張りたいと思います。

2年 酒井 結衣さん

2度目のかつらぎ祭体育の部。このクラスのみならず初めての大きな行事でした。学年種目である縦ムカデでは、転んだり、足が痛くなったりしました。本番では、4位という結果でしたが、先にゴールしたクラスの声援もあり、最後まで走りきることができました。そして、みんなで一体になって行う応援合戦では、3年生の応援団員が、1・2年生を引っ張ってくれたので、優勝することができました。総合的には3位という結果でしたが、青組でよかったと思えました。次は、かつらぎ祭文化の部があります。2年3組の歌声を体育館に響かせ、金賞を獲りたいと思います。体育の部での団結を、文化の部に生かしたいです。

2年 中野 結花さん

私はかつらぎ祭体育の部を振り返って感じたことがいくつかあります。まずは学年種目の縦ムカデです。私のクラスは練習のとき、他のクラスと1周ほど差がついていました。クラスでもめたりケンカが起きてしまうことだってありました。ケンカが起きた後は、皆いつもより真剣になり、当日は他のクラスを抜かしたりもできましたが、最後の最後で転んで結果はビリでした。ですが、私は悔しくはありませんでした。皆が最後のゴールのところまであきらめず声を出していたからです。私はクラスっていいなとも思ったし、何よりとってもうれしかったです。他のクラスの人や先生方も3組を応援してくれたり、「すごかった」とか「焦ったよ」などとも言ってくれました。周りの人の支えがあったから走り切れたと思っています。感謝の気持ちでいっぱいになりました。もう1つは応援合戦です。青組は優勝しました。私は2回目のかつらぎ祭ですが、優勝したことがなくとても嬉しかったです。先輩方も優しく振り付けを教えてくださいましたのでよい思い出となりました。次は、かつらぎ祭文化の部です。私のクラスは「予感」を歌います。あと残りわずかの練習期間を有効に使っていきたいです。そして、何よりクラスの皆と協力して楽しく絆を深めていけたらいいなと思っています。もしかしたら、クラスでもめ事があるかもしれません。ですが、人にぶつげず皆と話し合い協力していけたらいいなと思っています。



3年 井田 章吾さん

応援優勝、それが一番嬉しかった。何て言うか総合優勝とかよりも自分はこっちの方が嬉しい。応援は、クラスや学年を越えて1つになり、かわりの少ない子とも仲良くなり、新しい友情、そして今までよりもっと友情が生まれた。そして、その応援を優勝という言葉で誇れるのなら、例え優勝しなくても自分は嬉しいし、よかったとも思える。かつらぎ祭のおかげで、今まであまり話さなかった人や、クラスが違う人とでも会話することができてよかった。自分は今年が最初で最後のかつらぎ祭だった。でも、そんな時、右腕をケガしてしまった。それでも、病院で言っていたことは「かつらぎ祭には出るよ」という言葉。多分、昔の学校だったらそんな言葉は出てこなかったと思う。長岡中学校のかつらぎ祭は、何か人を熱くさせる何かがあると自分は思いました。昔いた自分の学校では、あんなに声も出ないし応援だってあのレベルではないと思う。自分はかつらぎ祭を通して、長岡中学校には他の学校と何か違ったよさがあると思いました。最初で最後のかつらぎ祭はとても楽しく、熱くてとても記憶に残るようなかつらぎ祭でした。みんなと協力したことは忘れません。ありがとう、そしてお疲れ。



3年 櫻田 侑里さん

「まとまりがないな」、私は初めての縦割り集会の時そう思いました。今年は、去年からあこがれた応援団となりました。青組の第一印象は、声が小さく行動が遅いというイメージでした。今のままで優勝できるのかなという不安の気持ちのまま体育の部の練習が始まりました。しかし、雨の日が続くように練習をすることができませんでした。後半は、晴れの日が続く、団長を中心に応援合戦や縦割り種目の練習に臨みました。練習を重ねるにつれ、声が大きくなったり移動が素速くなったり、青組の団結力はどんどん深まっていきました。また、青組の先生たちのおかげで私が責任者である「放て元気玉」も団結力をみせるようになりました。そして本番、応援合戦で優勝、放て元気玉は惜しくも3位でしたが、よい成績を収めることができました。青組の団結力が深まったと同時にクラスの絆も深まったと思います。完走できたことが2回ぐらいしかなく、本番は完走できないのではないかとという気持ちで体育の部を迎えました。雨でまったく練習ができませんでした。見事完走することができ3位になることができました。みんなも信じられない顔でいて、私もすごく驚きました。長中ソーランでは、全校の代表として前で踊ることができ、クラスだけでなく自分も成長した体育の部となりました。